

データサイエンス・リテラシープログラム
2024年度 自己点検・評価について

学部	学部・学科	科目名	単位数	合計 単位数
学芸学部	英語英文学科	情報処理Ia	1	3
	国際関係学科	データリテラシーb	1	
	多文化・国際協力学科	情報と社会(4)	1	
	数学科	情報処理	2	4
		データリテラシーb	1	
		情報と社会(4)	1	
	情報科学科	コンピュータリテラシーa	1	3
		データリテラシーb	1	
		情報と社会(4)	1	
総合政策学部	総合政策学科	データ・サイエンス入門	2	4
		情報通信技術と社会	2	

全学的な履修者数・履修率

プログラム履修者数(2024年度からプログラム構成科目のうち1科目以上の履修を開始した学生数)

学部	履修者数	履修率(履修者数/収容定員)
全学	800	29%
学芸学部	664	29%
総合政策学部	136	31%

(1年生783名、2年生3名、3年生0名、4年生0名、他14名)

※1 履修者数について

文科省の報告書に、『複数年次にわたって履修する「認定教育プログラム」の場合、履修者数については、履修した初年度に計上してください。』と指示あり。

(例)1～2年生にわたって履修するプログラムの場合、調査票へは今年度から履修開始した1年生の履修者数を記載し、前年度から継続して履修している2年生の人数は含めない。

※2 履修率について

履修率は、文科省への申請書様式の通り、履修者数/収容定員で計算

全学的な修了者数(2024年度末時点で新たに修了認定をした学生数)

プログラム修了者数(上記修了要件を満たした学生数)

学部・学科	修了者数
全学	436
学芸学部	145
英語英文学科	28
国際関係学科	31
多文化・国際協力学科	8
数学科	29
情報科学科	49
総合政策学部	291

プログラム修了者(学部内学年別)

学部・学科	修了者数
全学	436
学芸学部	145
1年生	16
2年生	31
3年生	44
4年生	54
総合政策学部	291
1年生	54
2年生	72
3年生	65
4年生	100

(1年生154名、2年生109名、3年生103名、4年生70名)

2025年度シラバス記載内容の改善

2025年度第3者シラバスチェックにて確認予定(3月下旬以降)

プログラムの履修率向上のための広報

2022年度の広報媒体	2023年度の広報媒体	2024年度の広報媒体	2025年度の広報媒体(予定)
履修要覧	履修要覧	履修要覧(継続)	履修要覧(継続)
大学公式WEBサイト	大学公式WEBサイト	大学公式WEBサイト(継続)	大学公式WEBサイト(継続)
委員会WEBサイト	委員会WEBサイト ・説明会動画の追加掲載	委員会WEBサイト(継続)	委員会WEBサイト(継続)
TsudaNet配信	TsudaNet配信	TsudaNet配信(定期)	TsudaNet配信(定期)
	新入生オリエンテーション	新入生オリエンテーション ・合格者特設サイトへの掲載 ・新入生オリエンテーション(継続)	新入生オリエンテーション ・合格者特設サイトへの掲載 ・新入生オリエンテーション(継続)
		学外学修・キャリアセンター ・チラシ+委員会WEBサイト掲載予定 ・企業向けリーフレットにプログラムを掲載	学外学修・キャリアセンター ・チラシ+委員会WEBサイト掲載 予定 ・企業向けリーフレットにプログラム を掲載
		・本プログラムの修了生に対してアンケート 実施	・本プログラムの修了生に対して アンケート実施

修了証明書の発行・通知について

全学情報教育運営委員会Webサイトで学内周知

- ・修了証明書は、プログラムの修了要件を満たした方は、
いつでも証明書自動発行機より修了証を発行できる
 - ・卒業時に卒業式の配付資料に修了証1枚が同封される
 - ・卒業後は本学所定の証明書申請手続きにより随時発行が可能
- 教務課が毎タームの成績公開の際にTsudaNetで全学生に告知している案内に、
本プログラムの修了証明書コメントを追記してもらえるよう依頼+配信済み

2024年度の各科目別実施状況の確認

学部	科目名	開講時期	履修者数	単位取得者数	受講者の声(抜粋)	授業を実施する上での工夫
学芸学部	情報処理Ia	各T開講	557 (学芸557、総合政策0)	526 (学芸526、総合政策0)	著作権についてなどほかの授業でレポートを書く時などに活用できる内容を学ぶことができて非常にためになる授業だった。 専門用語や操作の仕方などがまとめられた資料を共有画面で提示していただきながら、特に大事な点やポイントとなる点の部分にカーソルを当てて説明して下さったので、とても分かりやすかったです。	
	データリテラシーb	T3開講	104 (学生104、総合政策0)	98 (学生98、総合政策0)	今回の授業を通じて、未知だったデータ解析の分野について興味を持つことができました。 毎回のレポート作成はハードでしたが、だんだんと楽しく凝ったものを作ろうという気概が湧くようになり、結果的にデータサイエンスだけでなくレポートの作り方、グループワーク、発表の仕方についても学ぶことができましたように思います。 データサイエンス技術は、今では誰にも求められるような力になっていると思います。今回の授業での経験をきっかけに、戸口は叩けたかと思っています。これから研究やレポート作成においても役立つスキルだと思うので、積極的に活用して更なる高みを目指したいです。興味を持って取り組みだったので、大変でしたがとても充実した授業でした。	2022年度の1クラスから、2023年度に2クラスに増クラスし、2024年度に3クラスに増クラスを行った。 2025年度は、高校における情報教育の新課程を履修した学生の入学時期に合わせて、その時点で後継科目が履修希望者が履修できるようにクラスを8クラスに大幅に増やすことが決まっている。
	情報と社会(4)	T4開講	505 (学芸429、総合61)	389 (学芸340、総合49)	授業を通して、わたしが知らないところでもAIやIoTの技術が発展していることがわかり、将来その技術に何かしらの形で関われる仕事に就けたらいいなと思った。 この授業では、スマート家電などのIoTやAIといった日常生活で目に見える形で存在する情報技術から、ヒューマンインターフェースや予測変換機能といった、普段は意識せずに使用している技術の仕組みまで、幅広いトピックを学ぶことができました。特に、普段当たり前のように使用している技術の背後にある仕組みを理解することで、現代の情報技術への理解が深まり、非常に有意義な学びとなったと感じています。 AIの具体的な活用例がたくさん挙げられていたため、興味を持ちやすく、未来の技術について考えるのが楽しかったです。	Society5.0が実現する社会を具体的にイメージできるよう、実例等を示しながら解説をしている。さらに、レポートとして、具体的な情報技術を示しつつ、近い将来に実現する新たな社会について論じる課題を課すなど、文系学科の学生においても理系分野の学びではなく、分離融合の分野であることを理解できるような内容とした。 また、総合政策学部の学生も含め、多くの学生が履修できるように、オンデマンド型の授業形式として開講している。
	情報処理	T3・T4開講	56 (学芸56、総合0)	53 (学芸53、総合0)	私はパソコンを扱うことに苦手意識がありました。ですが、すぐに質問できる環境であったため、特に遅れを取らずに進めることができました。 ホームページを作る際、いろいろ注意すべき点やプログラミングが難しかったけど、楽しかったです。個人的には、エクセルの内容が一番難しかったです。	
	コンピュータリテラシーa	T1開講	51 (学芸51、総合0)	51 (学芸51、総合0)	—	
総合政策学部	データ・サイエンス入門	T1開講	140 (学芸0、総合140)	125 (学芸0、総合125)	私はデータ分析、統計に触れたことがほとんどありませんでした。しかし、このデータサイエンスを通じてデータ分析や統計に興味を持ちさらに理解を深めようと思いました。 全く興味のなかったデータサイエンスですが、あまりにもわからない時に質問に行くこと必ず丁寧に教えていただけたのがとてもありがたかった。また、授業の冒頭でデータに関するツールや資格、コミュニティまた大使館でのお話など、自分ではなかなか得ることのできない情報を話してくださるのでとても楽しかったです。	
	情報通信技術と社会	T3開講	141 (学芸1、総合140)	138 (学芸0、総合138)	社会問題単体、情報技術単体ではそれぞれ今までの授業でも考えたことがありましたが、これらを融合してメリット、デメリットを考えていくことで社会をさらに良くしていけるということに気付かされました。 自分の感想や意見をまとめるようなレポート課題とは少し違って自分のアイデアを提案する課題であったため、楽しく考えることができた点。	